

## この基礎演習について

1. この基礎演習は高校までの授業と全く違う。
2. 基礎演習の目的は、大学で学ぶための能力の養成。
3. 大学で学ぶための能力 = 集団的に問題を発見し解決する能力。
4. 学生自らが授業を企画・運営（教員とアシスタントはサポーター）。
5. ラベル・班・係 学生自らが授業を企画・運営するためのしくみ。
6. この基礎演習を通して、すばらしい作品をつくりあげよう。
7. 大学をオモシロクするために  
自分を変え、授業を変え、大学を変えよう。

### 長谷川研究室案内

経商研究棟 5階 510号室      phone:00-000-0000（研究室直通）  
phone:000-000-0000（携帯）      mailto:shin@ipcku.kansai-u.ac.jp  
<http://www2.ipcku.kansai-u.ac.jp/shin/>  
オフィスアワー：（只今調整中）

### Self Introduction

### 長谷川 伸 (HASEGAWA, Shin)

1966年、群馬県は前橋の生まれ。1994年、東北大学大学院経済学研究科博士後期課程を修了、東北大学助手を経て1996年、中南米経済論担当として本学部に赴任したばかりである。これまではブラジルの鉄鋼業を対象に、工業化戦略と需要構造との関係、産業内分業構造、生産技術等をテーマとして研究を行ってきた。資料探索・整理法や研究ツールについて頑ななポリシーを持ち、D.A. ノーマンの認知工学に惚れ込むマッキントッシュフリークでもある。コンピュータ・ネットワークなしでは、研究ができないほどコンピュータ環境への依存度は高いが、阪神大震災を契機として、「情報化」で拡大する情報格差について憂慮しはじめ、情報弱者支援の必要を説く。コーヒー、日本酒、ワインに少々こだわりがあり、日頃本物を求めて街を徘徊している。山を歩くのも大好きで、頂上でコーヒーを淹れる日を夢見て目下関西の山々を物色中である。